



SHINKAI NEWS

曙

あけぼの

発行責任者

福岡県議会議員

新開 昌彦

福岡市早良区曙2丁目1-35

e mail:

shinkai_masahiko@hotmail.com

Vol. 9 平成13年4月2日発行

県政報告

新開県議ブックスタートを提案



3月5日福岡県議会の代表質問3月21日予算特別委員会で新開昌彦県議は、ブックスタート運動について起案しました。

知事と教育長は、ブックスタートの効用を認め今年の11月からブックスタート運動ができるシステム作りをするよう答弁しました。

新開昌彦県議は、福岡県の「乳幼児育児支援事業」と文部科学省の「子育て学習の全国展開」を合体させる手法を提案しました。

ブックスタートってなーに？

1992年イギリスのバーミンガムで始まり、現在ではイギリス全土の75%で行われています。乳幼児健診参加者にブックスタートパック【絵本、両親へのアドバイス集、絵本リストなど】を手渡し、家庭での「楽しい本の時間」を応援する運動です。日本では、昨年から東京都杉並区等で行われています。

新開県議に幼い子どもを持つお母さん達から、「今のままでは、とても不安。子ども達のために是非、議会で取り上げて」と要望がっていました。



どんなふうになるの 今後は市町村の知恵比べです。

県は、市町村が実施する1歳6ヶ月、3歳、就学前の健診の場を活用し、各年齢に合わせた冊子を5万部づつ(福岡市、北九州市を含む)作成します。内容は、子どもに対する接し方、遊び方、おもちゃの作り方、童話などを盛り込みます。従来の健診に加え、この冊子を使い保健婦、保育士、読書ボランティアが、お父さんお母さんに「読み聞かせ」等の実践を通して乳幼児期の親の接し方などを説明し、子育ての応援をしていきます。



初当選させていただき、4月2日で、ちょうど2年になります。皆様には、心温まるご指導を頂戴し、一生懸命、議会活動を続けて参りました。

色々のご心配をお掛けいたしますが、今後も現場第一主義で働いて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

UNHCRが公明党福岡県本部青年局を招待



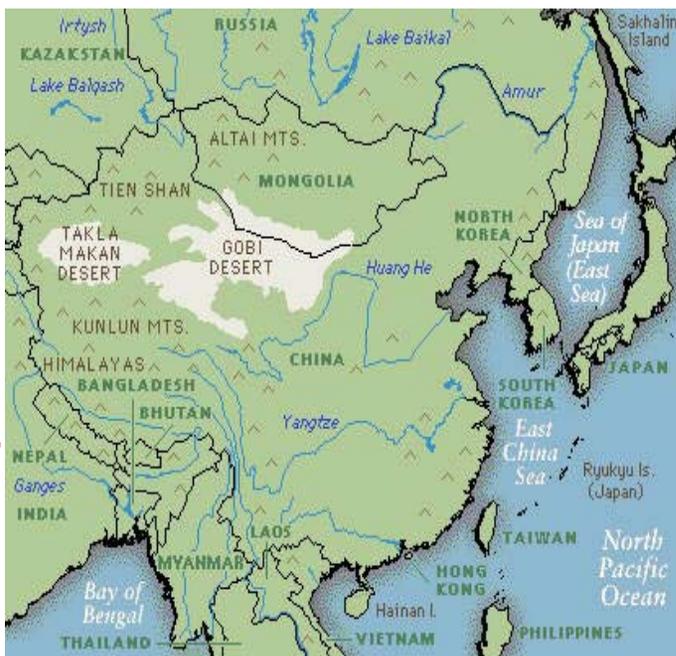
緒方貞子国連難民高等弁務官（写真中央）と**こば健太郎**参院議員とともに

2月7日、国連難民高等弁務官を10年間勤められた緒方貞子さんを「囲む会」が、総理主催で東京のホテルで開催されました。

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は、公明党福岡県本部青年局が、10年間難民募金を継続してきたことを評価し今回の招待になりました。

緒方さんは、現在、世界に2300万人の難民が存在することを力説。新開昌彦県議は、今後も難民募金を継続する旨を伝えると、「感謝します。人を思いやる心も伝わりますように」と緒方さんから深い謝意と要望が寄せられました。

中国雲南省に小学校建設が決定



公明党福岡地域本部女性局と21世紀を担う子供の健全な育成を願う会が、一昨年からアジアの子どもたちのために小学校を建設しようと計画し、バザーを行い、書き損じ葉書、テレホンカード等を集め資金づくりを行ってきましたが、このほど、中国雲南省金平県に小学校が建設できることが決まりました。

昨年8月、新開県議等が訪中した際にも、中国側から小学校建設の要請がありました。

県立総合射撃場のその後

県立総合射撃場〔筑紫野市〕は、新開県議が、昨年9月の一般質問で独自調査を元に質問しました。県教委が場内で鉛を検出した水質検査値を改ざんしていたことが発覚。新開県議は行政の「県民に対する姿勢」「環境に対する無知」の観点から徹底的に追及しました。

その後、県教委は、場内の土壌調査を行いました。場内には約180トンの鉛が蓄積され、鉛に汚染された土壌は8千立方メートルに上ることが確認されました。

県教委は、昨年12月、「これだけ大量の鉛汚染土壌を処理したことは全国でも例がなく、処理方法がわからない」として情報をオープンにし広く公募して回収・処理策を選考することを決定しました。

県教委は、鉛は、県内の企業で精錬して再利用する。汚染土壌は高温処理で無害化できるセメント原料の土として活用することに決定しました。処理費用は、3月22日総額3億7千万円で契約を結びました。

新開県議は、「情報をオープンにすることは当然。今後、環境行政の象徴となる施設になるよう期待している」と語りました。



射撃場の調査をする新開県議